

第 1 号様式（第 6 条関係）

暴力団等でないことに関する表明・確約書兼同意書

新宿区長 宛て

- 1 私〔当団体〕は、現在又は将来にわたって、次の各号のいずれにも該当しないことを表明・確約<いたします・いたしません>。

暴力団員又は暴力団員でなくなった日から 5 年を経過しない者（以下「暴力団員等」という。）をその役員等としていること又は暴力団若しくは暴力団員等にその経営を実質的に支配されていること。

職業の種類、雇用契約の形態等によらず、暴力団員であると知りながら暴力団員を雇用すること。

自ら若しくは第三者の不正の利益を図るため又は第三者に損害を与えるために、暴力団又は暴力団員等を利用すること。その役員等又は使用人がこれに相当する行為を行った場合も同様とする。

いかなる名義をもってするかを問わず、暴力団又は暴力団員等に対して金銭、物品その他の財産上の利益を不当に与え、便宜を提供する等暴力団の維持若しくは運営に協力し、又は暴力団若しくは暴力団員等に関与すること。その役員等又は使用人がこれらに相当する行為を行った場合も同様とする。

暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有すること。その役員等又は使用人がこれに相当する状態にある場合も同様とする。

- 2 私〔当団体〕は、現在又は将来にわたって、管理業務等の一部を第三者に委任し、又は請け負わせる場合の下請負人、物品の購入その他の契約の相手方及び業務委託の受託者（順次にされる委任又は請負、物品の購入その他の契約及び業務委託における下請負人、契約の相手方及び受託者を含む。）が前項各号のいずれかに該当するものであると知りながら、下請契約等を締結しないことを表明・確約<いたします・いたしません>。

下請契約等を予定していない場合については「いたします」を丸で囲んでください。

（以下裏面）

- 3 私〔当団体〕は、自ら又は第三者を利用して次の各号のいずれの行為も行わないことを表明・確約
<いたします・いたしません>
暴力的な要求行為
法的な責任を超えた不当な要求行為
取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為
風説を流布し、偽計又は威力を用いて新宿区の信用を毀損し、又は新宿区の業務を妨害する行為
その他前各号に準ずる行為
- 4 私〔当団体〕は、私〔当団体〕が新宿区指定管理者に係る暴力団等排除措置要綱の別表に定める措置要件に該当するものと思料される情報を区が入手したときには、新宿区長又は新宿区教育委員会（以下「区長等」という。）から警視庁に対し意見聴取を行うことを同意<いたします・いたしません>
- 5 私〔当団体〕は、私〔当団体〕と暴力団、暴力団員又は第 1 項各号に該当するものとの関与の事実について、区長等が警視庁から情報の提供を受けることを同意<いたします・いたしません>
- 6 私〔当団体〕は、前 2 項の意見聴取又は情報提供等により、第 1 項から第 2 項のいずれかを満たさないと認められることが判明した場合及びこの表明・確約が虚偽の申告又は事実と異なる申告であることが判明した場合には、催告なく指定管理者の選定の取消し、指定管理者の指定の取消し又は管理業務等の全部若しくは一部の停止がなされても、賠償及び補償を求めないとともに、これにより損害及び損失が生じた場合は、一切私〔当団体〕の責任とすることを表明・確約
<いたします・いたしません>。

（以上）

令和 年 月 日

署名

所在地

商号又は名称

代表者氏名

（注） 1 から 6 までの各項末尾の<いたします・いたしません>は、必ず署名者本人が で囲んでください。